

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

心房細動におけるアブレーション後の予後比較の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年1月1日から2023年6月30日までに昭和大学藤が丘病院でカテーテルアブレーションを受けた持続性心房細動および長期持続性心房細動の患者さん。

2. 研究目的・方法

現在、カテーテルアブレーションは心房細動に対する治療として広く普及しています。一般的に、心房細動は進行性の疾患と言われており、その持続期間によって発作性心房細動、持続性心房細動、長期持続性心房細動に分類されます。発作性心房細動においては、カテーテルアブレーションの有効性が十分証明されておりますが、持続性/長期持続性心房細動においては、その有効性は徐々に明らかとなってきておりますが、まだどのような患者さんに有効であるか、その予測因子ははっきりとしていません。当院では、持続性/長期持続性心房細動の患者さんに対し、カテーテルアブレーションを行う場合、アブレーション前に全身麻酔下に電氣的除細動を行い、不整脈を止めてから手技を行います。早期に心房細動が再発する患者さんとそうでない患者さんがおり、その反応性が術後の再発率に影響するのかどうかを調べることにしました。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028年 6月 30日 まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象者の同意取得後、診療録から下記の情報を収集します。

研究対象者背景：年齢、性別、身長・体重、血圧、喫煙歴、飲酒歴

原疾患：初回発病年齢、発症年月日(診断日)、罹患期間、重症度

原疾患の治療歴：使用した治療薬の名称及びその中止理由(当てはまる場合)

合併症：有・無、疾患名

既往歴：有・無、疾患名

現在の併用薬：薬剤名、一日投与量、投与経路、投与理由、投与期間

また、臨床検査ならびに心機能、心房細動の再発評価に関する下記のデータをあわせて収集する。

血液学的検査：赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値、白血球数、血小板数

血液生化学検査：AST (GOT), ALT (GPT), AI-P, LDH, -GTP, 総ビリルビン、BUN,

クレアチニン、HDL コレステロール、LDL コレステロール、トリグリセリド、BNP

特殊検査：12 誘導心電図検査、ホルター心電図、経胸壁心臓超音波検査

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6．研究組織

研究責任者 研究機関名：昭和大学藤が丘病院 氏名：杉山 拓士

研究分担者 研究機関名：昭和大学藤が丘病院 氏名：小貫 龍也

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院 循環器内科 氏名：杉山 拓士

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1 - 3 0 電話番号：090-3230-8650